

2024年度一般選抜(学部学科試験・共通テスト併用方式)
記述式問題 解答例

学部・学科:2月8日 文学部 国文学科

三		二		一			
問六	問五	問五	問四	問三	問九	問八	問七
<p>〈口語訳〉 多くの牧谿の画が日本にもたらされた理由について、どうして不思議に思うことがあるのか(不思議なことなどない)。</p>	<p>〈書き下し文〉 其の多きを致す所以は、何ぞ以て怪しむに足らんや。</p>	<p>世の中のあらゆる物事について、その趣きや本質を理解し、率直に感じ入ること。</p>	<p>「あはれ」という言葉に何の効能もないが、それでも言わざるを得ないのが「あはれ」なのだ。</p>	<p>「ちはやぶる・呉竹の・唐錦・富士の嶺の・あま彦の」のうちから二つ。</p>	<p>「するが」が「思ひする」の動詞「する」と、地名「駿河」の掛詞。「ひ」が「思ひ」の活用語尾「ひ」と、噴火の「火」の掛詞。</p>	<p>古典的生理学は感覚を物質の因果的秩序に還元しようとするが、感覚はその秩序に還元されえないものであるから。(五二字)</p>	<p>生きものによって、それぞれの独自の座標軸にしたがって体験されているということ。(三九字)</p>
	<p>A すこぶる</p> <p>B けだし</p>		<p>(一)</p>	<p>(三)</p>	<p>D 蔽密</p> <p>E 抽出</p>	<p>A 懐疑</p> <p>B 肝心(肝腎)</p> <p>C 着想</p>	